



命 ひびき合い

学校だより No. 4
令和 3年 5月28日号
文責 校長 中島 哲徳

『 確かな学力の育成 たくましい身心の育成 豊かな心の育成 』

タブレットの活用を始めました

今年度から小中学校の児童生徒すべてにタブレットを使わせ、子どもたちに自ら進んで意欲的に学習に取り組んでもらおうという「GIGAスクール構想」が、日本全国で始まりました。これは数年前から「プログラミング学習」という、パソコンを活用した学習に小中学校で取り組むように文部科学省から指導があっていました。しかし、そのためには莫大な予算が必要になることから、実際に学校現場で実現するには、数年はかかるだろうと考えられていた取組でした。

ところが、思いもよらないコロナウィルスの影響で、学校での授業ができない状況が発生したり、インターネットを使った授業が現実化したりする中で、導入に向けた動きが加速し、鹿島市でもこのような環境を整えていただくこととなりました。

導入される前までは、私たち教職員も「どのように活用させればいいのか」とか「学習内容はたくさんあるのに、タブレットの使い方まで指導する時間があるのか」とか、不安がたくさんありました。また、1年生や2年生の低学年で、有効な活用ができるかという疑問もありました。

しかし、考え方にもっと柔軟性を持ち、タブレットで全てを指導するのではなく、1つのツール（道具）として、困った時に使用できる便利な物と捉えれば、気軽に使うことができます。実際に2年生が電源を入れたり切ったり、自分の写真を撮って張り付けたり、楽しく活動をしていました。5年生も、市役所の教育総務課から指導に来ていただいて、真剣に活動させてもらいました。

子どもたちは私たちが考えるよりはるかに、タブレットに対する抵抗が少なく、うまくいなくてもどんどん操作をして試していきます。いろいろなことを身に付けるスピードが速いのは、当然だなと感じました。今後、すべての学年で、さまざまな活用がなされていくと思います。

学校運営協議会を開催しました

先週金曜日に、鹿島市教育委員会の中村教育長様にご臨席を賜り、第1回の学校運営協議会を開催しました。保護者の皆様にとっては聞きなれない言葉で、何のことも疑問に思われるかもしれませんが、別の言い方では「コミュニティスクール」と呼び、学校を地域の方々全員で見守り、子どもたちを健全に育成していくために支援をしていただく組織のことです。

これまで北鹿島小学校区は、振興会や区長会、ふるさと会等があり、学校には十分協力してきたので、わざわざ新しく作らなくてもいいのではないかなという考えもあるかと思います。しかし、学校が一方的にお願いをして、力を貸していただくという関係で、一緒に意見を出し合いながら、より良い内容に高めていくという点では、不足していたのではないかなという反省がありました。

少子化が進むことが予想される今後のことを考えると、積極的に学校運営に関わっていただきながら、学校に対する意見や提案をたくさんしていただき、子どもたちに「ふるさと北鹿島」の良さとありがたさを実感できる、体験活動を計画していただけることを期待しています。

学校運営協議会の委員の皆様は次の方々です。

北鹿島振興会会長	宮崎 憲治 様
北鹿島区長会会長	向井 正則 様
北鹿島ふるさと会会長	中原 貞毅 様
北鹿島地区民生委員会会長	太田尾隆喜 様
北鹿島体育協会会長	野田 勝 様
北鹿島小学校学校評議員	松尾久美子 様
北鹿島小学校PTA会長	小池 大蔵 様
鹿島市教育委員会	藤家孝太郎 様



交通安全教室及び自転車教室を行いました

25日(火)の1・2時間目に1・2年生の交通安全教室、3・4時間目に3・4年生の自転車教室を行いました。前日は梅雨に入ったこともあって雨が降っており、運動場には水たまりがたくさんできていたので、実施できるかどうか心配していましたが、絶好の天候になり胸をなでおろしました。この2つの教室は、子どもたちの大切な命を守るために、歩道の歩き方や横断の仕方、自転車の点検や安全な乗り方など、学年に応じてその場に行ったり、実際に自転車に乗ったりして、しっかり身に付けようというものです。鹿島警察署や交通指導員さん、市役所の総務課の方々など、たくさんの人に協力をいただいて実施することができました。保護者の皆様も、自転車を学校まで運んでいただいて、ありがとうございました。

ただ、学校で指導はしますが、基本は家庭での指導にかかっています。特に自転車については、技能がまだまだ未熟な子どもも多くいます。実際に見ていただいて、安全に乗れるかどうか確認の上、道路で乗って良いかどうか判断をしてください。



ピカピカのプールにしてくれました

昨年は使用できなかった学校のプールが、今年はコロナウィルス対策を十分にしたうえで、使用することができるようになりました。夏の暑い日にまったく泳げなかった昨年のことを考えると、子どもたちにとってとても幸せなことだと思います。

それに先立って、4・5・6年生の子どもたちの力を借りて、プール掃除を25・26日の2日間行ってもらいました。ちょっと肌寒い気温でしたが、それぞれ割り当てられた場所を一生懸命掃除したり、磨いたりしてくれました。おかげで、ピカピカのプールになり、気持ちよく水に親しんだり、泳力の向上に向けて取り組んだりすることができます。

ちょっと不安に思っているのが、昨年プールでの授業が実施できておりませんので、苦手な子どもにとっては2年のブランクがあり、体育の水泳のハードルがちょっと高くなっているのではないかとことです。



谷桃子バレエ団ワークショップ

昨年の中部フィルハーモニー交響楽団のフルオーケストラ演奏会に引き続き、今年度も「本物の芸術」に触れる機会に恵まれ、6月29日(火)にクラシックバレエの公演に来ていただくことになりました。私も含め、生のバレエ公演を見たことがあるという人は、ほとんどいないと思います。テレビでちょっと見たことがあるとか、ドラマの場面設定でそういうシーンを見たことがあるという程度でしょうか。

ですから、その概要を事前に教えていただくワークショップはとても興味深く、どんなメニューになっているだろうかと、最初から最後まで参加させてもらいました。学校からは子どもたちを代表して5年1組の子どもたちが26日(水)の5時間目に体験をしました。

指導していただいたのは2名のダンサーで、始めに体の柔らかさを鍛える柔軟運動、次に基本の足の位置を5パターン、そして手の位置を4パターン指導していただきました。そして、それを組み合わせた動きや、手の動作で気持ちを伝えること等、短時間の間にたくさんの魅力を伝えていただくことができました。びっくりしたのは何といても体の柔らかさと、表情の豊かさ、動きの軽やかさでした。



平日の遅刻・欠席連絡は必ず電話連絡をお願いします

マチコミメールは、新型コロナウイルス関連や交通事故などの、休日の緊急連絡のみで使用してください。